

質問・意見まとめ(令和7年度第1回あきる野市子ども・子育て会議)

該当箇所	質問・意見内容	市の考え方(対応等)	担当課
資料1(項目6)	3歳児健診から支援を必要とすることもたちにとって、5歳児対象に行われている就学支援シート作成への啓発はスムーズに行われていますでしょうか。保護者の方の理解が以前よりは進んでいると聞いていますが、実態はどのようなのですか。	市内に住所を有する5歳児全員に通っている保育所・幼稚園等(市外も含む)を通じて、就学支援シートについてのお知らせを配付しています。 提出は、令和4年度113件、令和5年度144件、令和6年度119件となり、理解は進んでいると考えます。	指導室
資料1(項目9)	教育相談事業の来所教育相談件数2,107件、電話相談136件は実数又は延べ件数でしょうか。また、相談項目、電話相談の上位3位までにどんな項目が挙がっていますか。現場では登校渋り、不登校、発達課題に関して話題に挙がります。	教育相談件数は延べ件数。 相談の上位3位は、 ①発達障害等 ②不登校 ③心身の健康・保健 となっています。	指導室
資料1(項目50)	学校安全ボランティアの見守りと、50ヶ所の防犯カメラによる安全の確保の50ヶ所防犯カメラによる安全の確保というものは、令和5年度にも同じことが記載されていましたが、具体的にどのようなことももう少し詳しく知りたいです。50ヶ所さらにあきる野市に設置されたということでしょうか。	防犯カメラを新規で設置したのではなく、既存の50か所に設置されている防犯カメラについて、警察から情報提供を求められた際に必要な映像データを提供できるよう日頃の目視による点検や業者による定期的な保守点検など維持管理をしています。 なお、学校安全ボランティアの見守りについては、登下校時刻に通学路上で立哨するなどして直接的に見守り活動を行う、登下校時刻に合わせて庭先に出たり散歩等を楽しみながら見守り活動を行う、そのほか通学路の安全状況を確認するなど様々な形で行われています。	教育総務課
資料1(項目13)	障がい児支援サービスの評価についてですが、令和6年度の実績のところには件数が記載されており評価Bとなっておりますが、待機児童が多いことが現状で先日の自立支援会議の中でも施設のほとんどが職員不足ということと受け入れ困難ということが挙げられていました。 評価B目標どおりということですが、全体的に不足している状況が目標どおりであることに違和感を感じました。療育支援への取り組みに関してのどう取り組んでいく方向なのか聞かせていただけたらありがたいです。	事業所の開設等により、児童発達支援と放課後等デイサービスともに、利用者数が増加していることから評価Bとしております。しかしながら、ご指摘のとおり、自立支援協議会等において、職員が不足していることや放課後等デイサービス事業所等の空きが少ないことはご意見としていただいております。	障がい者支援課
資料1(項目30)	子育て支援講座の評価について、体験学習が10名以上参加していることに対して家庭教育の受講者数が3名6名となっていますが目標設定人数はあるのでしょうか？B目標どおりとなっていますが、必要とするもう少し多くの方に届くものになると良いのではないかと感じました。	親子で一緒に各種の体験をする家庭教育講座は、親子の絆を強め、自己肯定感を高める事業として、多くの親子に参加していただいています。 これに対し、発達段階に応じた様々な問題を取り上げて親の学びの場を提供する家庭教育学級は、取り上げるテーマによって対象が限られる場合もあり、少人数での事業となることもありますが、必要としている方に情報や、学習機会が提供できるよう努めています。 今後も、必要とする大切なテーマを取り上げつつ、できる限り多くの方に参加していただけるよう、周知等も含め取り組んでまいります。	生涯学習推進課